

# 日亜トービン

## 薄板用トービnbronz被覆ガス溶加棒

日亜トービンはトービnbronz心線にフラックスを被覆したガス溶加棒で、各種金属材料のろう付に広く利用されています。溶融金属の湯流れや母材に対するなじみがよく、またブローホールなどの欠陥がない、常に安定したすぐれた性能をもつろう付部が得られます。特に薄板用として最適です。

**用 途** 適用できる金属の範囲が広く、銅、黄銅、青銅など銅合金一般および軟鋼、特殊鋼、鋳鉄などの同種または異種の金属間の接合。

**作業要領**

- ①酸素アセチレン炎によるガスろう付を行ないますが、ろう付作業は極めて容易です。
- ②ろう付箇所は事前にワイヤーブラシやグラインダーなどで研削するか、または酸洗いを行なって、さびや油脂分を除去して下さい。
- ③ろう付作業温度は約900～950℃です。
- ④一般にろう付部の機械的強度が必要とされる場合は酸化炎を用い、特にビード外観が重視される場合は中性炎を用いて溶接して下さい。

### ■溶加棒の構成化学成分

Cu, Zn, Sn
------------

### ■溶着金属の機械的性質一例

棒径 (mm)	引張強さ	伸び
2.0	394 MPa	38.5 %
3.0	387 MPa	40.8 %

### ■製造寸法

棒径 (mm)	長さ (mm)	小包装質量 (kg)	大包装質量 (kg)
1.6 2.0 2.6 3.0	1000	5	20

# 日亜トービンS

## 一般用トービnbronz被覆ガス溶加棒

日亜トービンSは特殊トービnbronz心線を使用したガス溶加棒です。溶融金属の流動性、母材に対するなじみ性が良好で、過熱によっても亜鉛の蒸発は少なく、ブローホールなどの欠陥もなく、すぐれた接合強度を有しています。

**用途** 自転車、自動車車体工業、空調装置、温水器、冷却器、熱交換器、ラジエーターなどの組立取付、配管。

### ■溶加棒の構成化学成分

Cu, Zn, Si, Ni

### ■溶着金属の機械的性質一例

引張強さ	伸び
454 MPa	39.8 %

### ■製造寸法

棒径(mm)	長さ(mm)	小包装質量(kg)	大包装質量(kg)
1.6 2.0 2.6 3.0 4.0	1000	5	20

# 日亜トービンY

## 肉盛用トービnbronz被覆ガス溶加棒

日亜トービンYは特殊トービnbronz心線を使用したガス溶加棒です。有効成分を添加することにより溶融金属の表面張力が大きく、流れ落ちがないため肉盛に適しています。また強力な接合力をもっていますので、各種金属材料のろう付にも広く利用できます。

**用途** 機械部品、弁座、シャフト、ピストンなどの欠損部の肉盛補修および炭素鋼、鋳鉄などへの肉盛。化学機器、電気部品の取付、銅管、鋳鉄部品などの接合。

### ■溶加棒の構成化学成分

Cu, Zn, Sn, Si, Ni

### ■溶着金属の機械的性質一例

引張強さ	伸び
433 MPa	35.5 %

### ■製造寸法

棒径(mm)	長さ(mm)	小包装質量(kg)	大包装質量(kg)
2.0※ 2.6※ 3.0※ 4.0 5.0 6.0 8.0※	1000	5	20

# 日亜トービンR

## トービnbronzes裸ガス溶加棒

日亜トービンRはベーパーフラックスおよび日亜トビラックスを使用して行なうガスろう付用の特殊トービnbronzes溶加棒です。溶融金属は母材に対するなじみがよく、またろう付作業中に亜鉛の蒸発がありませんので、ブローホールなどの欠陥がなく、接合強度の大きい安定した性能をもつろう付部が得られます。

**用 途** 日亜トービンと同じく、各種金属材料の接合あるいは肉盛補修。

### ■溶加棒の構成化学成分

Cu, Zn, Sn, Si, Ni

### ■溶着金属の機械的性質一例

引張強さ	伸び
432 MPa	36.4 %

### ■製造寸法

棒径 (mm)	長さ (mm)	小包装質量 (kg)	大包装質量 (kg)
1.6 2.0 2.6 3.0 4.0※ 5.0※ 6.0※	1000	5	20

# 日亜トビラックス

## bronzes用フラックス

日亜トビラックスはbronzes用フラックスで鋳鉄、銅および銅合金をはじめ各種異種金属のろう付を行なう場合に、ろう付箇所塗付すると作業が容易にできます。

- 特 長**
- ①母材とのなじみ性をよくします。
  - ②狭い部分への浸透性をよくし、接合力を高めめます。
  - ③金属の酸化を防ぎ、作業性をよくします。
  - ④亜鉛の燃焼の防止に効果的です。

- 使用要領**
- ①トビラックスは粉末状のフラックスです。したがって、母材には水に溶きろう付箇所塗布して使用して下さい。
  - ②溶加棒の一端を加熱し、直接フラックス中に入れ、溶加棒に付着させて使用することもできます。
  - ③母材の酸化スケール、油脂類などを除去して清浄にして下さい。
  - ④ろう付は中性炎で行なって下さい。

**包 装** 1kg 缶入